



Bateman
& Fonagy

MBT Basic Training in Japan

英語／通訳あり

2020
3.19 Thu
3.21 Sat

in
京都

パーソナリティの問題を抱えた人びとを
心を通して理解し、治療し、支援するための
実証性に裏打ちされた確かな治療理論、
メンタライゼーションに基づく治療（MBT）。
創始者バートマン、フォナギーによる
第二回目の公式訓練プログラムを開催します。
日々の臨床が変わる、貴重な機会をお見逃しなく。

企画：日本メンタライゼーション研究会

① メンタライジング

メンタライジング mentalizing とは「自分や他者の行動の背景にある心理状態を理解しようとすること」です。幼少時の被虐待や過度な支配など外傷的な養育環境は、子どもの健康なメンタライジングの成長を妨げると言われています。

② MBT

メンタライゼーションに基づく治療 Mentalization-Based Treatment (MBT) とは、境界性パーソナリティ障害 (BPD) などを抱える人々の、メンタライジングを育てていくことによりその生きづらさ・苦しみを軽減していくというアプローチです。

③ 有用性と汎用性

MBT は数々の臨床調査研究にて BPD に対する持続的な治療効果が証明されています。さらに、BPD 治療・精神科医療現場のみならず、さまざまな疾患や臨床的問題、医療以外の現場にも汎用が可能なアプローチです。

④ ベーシック・トレーニング

イギリスのアナ・フロイト・センターによるこのトレーニングは、世界各国で毎回予約が取りにくいほど人気のプログラムです。トレーニングでは参加者同士のロールプレイに多くの時間が割かれ、さらに幅広い理論的概説、実際の治療場面のビデオ教材を使用した技法の解説などパーソナリティ障害の治療としての MBT を総合的、体験的に学べる内容となっております。

⑤ 修了認定

本プログラム修了者はアナ・フロイト・センターの修了認定を受けることになります。認定者は今後、さらなるトレーニングのためのスーパーヴィジョン、プラクティショナー・コース受講も可能となります。



開催予告

2020年3月22日(日)

Bateman & Fonagy 両博士をお招きして、『学術プログラム(名称未定)』を開催します。

会場 同志社大学良心館
(地下鉄烏丸線「今出川」駅すぐ)

開催概要

日本メンタライゼーション研究会ウェブサイトにて随時告知します。

場所 ハートピア京都 (京都市立総合社会福祉会館) 3階大会議室
「丸太町」駅 (京都市営地下鉄烏丸線) 5番出口直結
京都市中京区清水町 375 番地
<http://heartpia-kyoto.jp/>

参加費 12万円 (振込後の返金はいたしかねます)

定員 60名程度

参加資格

医師・臨床心理士・公認心理師・看護師・保健師・社会福祉士・精神保健福祉士・作業療法士等、精神保健専門家の資格を有する方で、境界性パーソナリティ障害等の臨床経験*1があり、MBT の実践に関心がある方。

*1 参加者同士のロールプレイで BPD 患者の役割も演じていただきます。そのため、BPD あるいはそれに相当する障害の臨床に直接関わり、ロールプレイを行えるだけの臨床経験があることを意味しています。

募集期間 2019年7月1日～7月31日 (先着順ではありません)

募集方法 日本メンタライゼーション研究会ウェブサイトにて6月中旬に告知します。
<http://mentalization.umin.ne.jp>

参加決定 2019年8月以降に事務局から参加可否についてご連絡します。

